（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 令和２年１月10日(金)　11:25～12:30、13:00～14:00 |
| 場所 | 大阪府庁　会議室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：  　上山特別顧問  (職員等)：  　副首都推進局総務・企画担当部長、事業再編担当課長  大阪府スマートシティ戦略準備室長、副理事、参事  　大阪市ＩＣＴ戦略室活用推進担当課長 |
| 論点 | ○大阪におけるスマートシティについて |
| 主な意見 | ○都市問題は、かつては公害、住宅不足などであったが、今は空家、老朽化、高齢化などであり、広域ではなく基礎自治体の問題に変わっている。ところが、市町村は財政が厳しく、きめ細かな対応は困難。地域を単位にして、企業に力を借りて、テクノロジーを導入することが必要ではないか。  ○テクノロジーが人やモノの動き方などを変えていくため、従来の都市インフラの更新とは違い、まちづくり自体の理念も変わっていくと思われる。ヨーロッパの都市の先進事例が参考になるのではないか。  ○オープンデータ（データの利活用）については、行政の保有するデータを集約するとともに、企業ニーズの調査や人材育成も必要。そこで、産業局や新大学に設置を検討しているデータマネジメントセンターとの連携なども含めて、検討を進めてはどうか。 |
| 結論 | 特別顧問のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 |  |
| 関係部局  （室課） | 大阪府スマートシティ戦略準備室 |